

## しあわせ家族計画 字幕

### Chapter1: Opening

かいとうしゃ  
回答者 : アイリッシュ・セッター<sup>1</sup>、ウェルシュ・コーギー・ペンブローク<sup>2</sup>、オーストラリアン・シルキー・テリア<sup>3</sup>、ノーフォークテリア<sup>4</sup>、ボーダーコリー<sup>5</sup>、ジャーマン・シェパード・ドッグ<sup>6</sup>、バーニーズ・マウンテン・ドッグ<sup>7</sup>、ダルメシア<sup>8</sup>

おとこ  
男の子 : わかったよ、もう

かいとうしゃ  
回答者 : ダックスフント<sup>9</sup>、カバリア・キング・チャールズ・スパニエル<sup>10</sup>、ラブラール・リトリバー<sup>11</sup>

よし たろう  
由太郎 : あああ

ゆう こ  
優子 : あんた<sup>たち</sup><sup>12</sup>、さっさと<sup>13</sup> お風呂<sup>ふろ</sup>、入<sup>はい</sup>りなさい

ゆう こ  
優子 : 由太郎、ちゃんと<sup>14</sup> 宿題<sup>しゅくだい</sup>やったの

よし たろう  
由太郎 : やった

ゆう こ  
優子 : 陽子<sup>ようこ</sup>、少し<sup>すこ</sup>はうちのこと<sup>てつだ</sup>手伝いなさいよ  
学校<sup>がっこう</sup>行かないんだったら<sup>15</sup>、ひまでしょ

よう こ  
陽子 : わたしにはわたしの勉強<sup>べんきょう</sup>があるの

よし たろう  
由太郎 : うちのお父<sup>とう</sup>さん出<sup>で</sup>ないかな<sup>16</sup>

ふ じ お  
富士夫 : お願い<sup>ねが</sup>します

なん  
何とか、ひとつ<sup>17</sup>、お願い<sup>ねが</sup>しますよ

このタルタルフライ<sup>18</sup>ですね、うちの今<sup>いま</sup>イチオシ<sup>19</sup>なんですよ、イチオシ

てんいん  
店員 : 無理<sup>むり</sup>無理<sup>むり</sup>、ほら、棚<sup>たな</sup>いっぱいでしょ

ふ じ お  
富士夫 : わかってますけども、田口<sup>たぐち</sup>さん

てんいん  
店員 : だめだめ

ふ じ お  
富士夫 : た、た、た、田口<sup>たぐち</sup>さん

てんいん  
店員 : なによ

ふ じ お  
富士夫 : 些<sup>さ</sup>少<sup>しょう</sup><sup>20</sup>ですけど、これ、今回<sup>こんかい</sup>はこんなところで

ふ じ お  
富士夫 : ええ、ついてましたよ<sup>21</sup>、今日<sup>きょう</sup>は

新規<sup>しんき</sup>がじゃんじゃん<sup>22</sup>決<sup>き</sup>まっちゃいましてね<sup>23</sup>

え、え、いえいえ、そんな事<sup>こと</sup>ないですよ、アハハハ

はい、人事部が

富士夫 : 解雇  
社長 : 会社の決定なんだ。従ってもらうしかないんだよ<sup>24</sup>  
富士夫 : 理由を、理由を説明してもらえませんか  
社長 : 経理の方から指摘があつてね  
君の行動費の中に、不明瞭な出金はずいぶんとあるそうじゃないか  
富士夫 : どういう事でしょう  
社長 : いわゆる、リベートじゃないのかね  
富士夫 : それは、それはあの、本部長もご存知のはずなんですが  
社長 : 警察に届けたりはしないがね  
横領となると、これから君も困るだろう  
それじゃ

由太郎 : お母さん、教材費<sup>25</sup>は  
優子 : あるでしょう、カバンのなか、ポケット  
由太郎 : ないよ  
優子 : ない  
ちゃんとよく探したの、ちょっと  
こん中<sup>26</sup>入れたんじゃ、このポケットの中  
由太郎 : あるじゃん<sup>27</sup>  
優子 : ごめん<sup>28</sup>、ありました  
落とすなよ<sup>29</sup>、はい  
由太郎 : 行ってきます  
優子 : 行つてらっしゃい  
富士夫 : すまん<sup>30</sup>  
優子 : 何が  
富士夫 : うん、あ、お代わり  
優子 : どうしたの、もう三杯目よ

富士夫 : あっあの、僕<sup>ぼく</sup>だけど  
実はね<sup>31</sup>、会社、クビになつちやつて<sup>32</sup>

ひろ せ  
広瀬 : ささ とお おとこ みさお  
捧げ通した男の操  
あすから一人、生きてゆけない

しながわ  
品川 : かわじり  
川尻くん  
わたし ていねん あま ねん  
私は、定年まで余すところ<sup>33</sup>年だった  
きみ  
君は、これからだというのに、かわいそうだね

ひろ せ  
広瀬 : せ わ  
お世話になります、いつまでも、おとこ  
ここんとこさあ<sup>34</sup> あんたの<sup>えいぎようせいせき</sup>営業成績、急<sup>きようじようしょう</sup>上昇<sup>35</sup> だったっつうじゃないの<sup>36</sup>  
それでクビはねえわなあ<sup>37</sup>  
やっと、俺の半分くらいまでいったのにさ<sup>38</sup>  
なあ、もったいないよなあ<sup>39</sup>  
しゃたく お だ  
社宅、追い出されるんだろ  
か ぞく だいじょう ぶ  
家族、大丈夫か  
ヤケおこさねえことだなあ<sup>40</sup>  
ま、とにかく、達者でな<sup>41</sup>、な、達者で、アハハハ

しながわ  
品川 : ひろ せ くん  
広瀬君  
ひろ せ  
広瀬 : はあ  
まだ部<sup>ぶ</sup>長<sup>ちよう</sup>のつもり<sup>42</sup> なんですか  
へええ  
あいてて<sup>43</sup>  
な、何てことすんだ<sup>44</sup>、このやろう<sup>45</sup>

ふ じ お  
富士夫 : か げん  
いい加減にしなさいよ<sup>46</sup>  
ひろ せ  
広瀬 : どけ<sup>47</sup>、てめえ<sup>48</sup>  
しやいん  
社員 : やめてください  
やめてください